



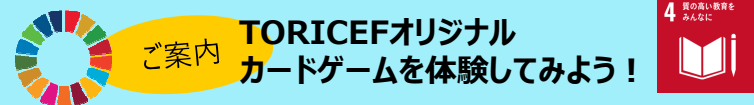
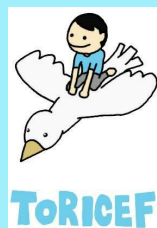
入場無料

気候変動、森と生きものがきえる問題
食料と水の不足、戦争、難民
児童労働、貧困、格差など、
いま地球上で起きている問題と、
それに巻きこまれている世界の子どもたちの話が
私たちの暮らしとどのようにつながっているのかをお伝えします。
これらの問題はすべて 命をまず一番に考えていたら、
起きなかったと思うことばかり。
もったいないばあさんといっしょに考えていきましょう。

- 11/7 (土) ~ 11/19 (木) 9:00 ~ 19:00
倉吉未来中心 よりん彩 (9日、16日 休館)
- 11/25 (水) ~ 12/8 (火) 10:00 ~ 19:00
ギャラリー鳥たちのいえ (最終日 16時まで)

TORICEF、活動開始！

TORICEF(トリセフ)は、鳥取県ユニセフ協会の学生部として2020年1月に設立されました。鳥取大学の学生が立ち上げたサークルで、2020年9月時点で12名の学生が所属しています。世界の子どもたちの命と健康を守るユニセフの理念に賛同し、学生主体でユニセフ活動の支援を行い、そして活動を通して学生たち自身の視野を広げることを目的としています。また、2030年までの開発目標でもあるSDGsにも取り組み、鳥取の子どもたちを対象としたオリジナルカードゲームによるSDGs教育にも力を入れています。



- 第1回：12/6(日) ギャラリー鳥たちのいえ
第2回：12/20(日) 鳥取市商工会議所
第3回：1/17(日) 鳥取市商工会議所

イベント詳細は、鳥取県ユニセフ協会ホームページ、FBで配信予定です。

【今後の活動予定】

- 11/21(土) チャイルドライン うさぎのみみ新規メンバー講習会「子どもの権利について」
- 11/24(火)10-12 鳥取県生協東部エリア会 ユニセフ学習会
- 11/27(金)10-12 鳥取県生協西部エリア会 エシカル入門編
- 2021/1/18(月) 暮らしの経済・法律講座 (公立鳥取環境大学)
テーマ「ユニセフの活動を通して見たSDGsと子どもの人権」

■ **ユニセフライブラリー** ユニセフの活動を紹介するビデオ・DVD・パネル・学習教材等の貸出しを行っています。

■ パネル

「ユニセフってなあに?」、「わたしも学校に行きたい」、
「子どもたちにやさしい地球を残そう」
「私たちの未来に向けた目標(SDGs)とユニセフの取り組み」

■ 学習教材

「ユニセフ手帳」、「子どもの権利条約カードブック」他



■ 展示ツール

ネパールの水がめ
マラリア対策の蚊帳
経口補水塩などの支援物資



鳥取県ユニセフ協会

〒680-1202
鳥取市河原町布袋597-1 鳥取県生協内
TEL/FAX : 0858-71-0970
E/-Mail : unicef-tottori@juno.ocn.ne.jp
URL : <http://unicef-tottori.jp/>



ボランティア登録、資料貸出、
その他お問い合わせ等は、事務局
までご連絡ください。また、どなた
でもお気軽にお立ち寄りください。

月・火・金 10:00~16:00
水 10:00~12:00

鳥取県生協本部1階になります！

とっとり ユニセフ通信

vol. 15
2020年 11月

ユニセフ報告書「レポートカード16」発表 先進国の子どもの幸福度をランキング

今回発表された『レポートカード16－子どもたちに影響する世界：先進国の子どもの幸福度を形作るものは何か(原題：Worlds of Influence: Understanding what shapes child well-being in rich countries)』は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)発生前のデータを用い、子どもたちの精神的、身体的な健康と、学力・社会的スキルについてランキングしています。

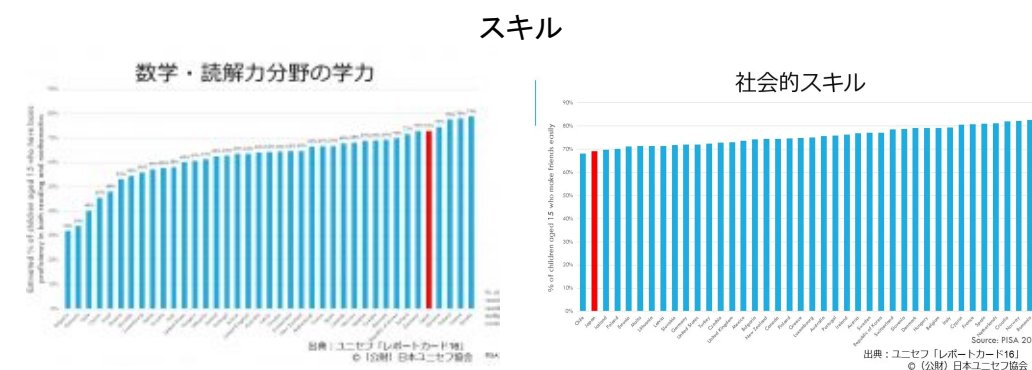
これらの指標によれば、オランダ、デンマーク、ノルウェーが、子どもが住む場所として、最も順位の高い国々という結果が示されました。

「世界で最も豊かな国々の多くは、すべての子どもたちに良い子ども時代を提供するリソースを持っていないが、それが果たせていません」と、イノチェンティ研究所所長のグニラ・オルセンは述べます。「政府がパンデミックへの対応の一環として、子どもたちの幸福度(wellbeing)を守るための迅速で確固たる行動をとらなければ、子どもの貧困率が上昇し、精神的・身体的健康状態が悪化し、スキルの格差が広がり続けるかもしれません。COVID-19関連の子どもや家庭へのサポートはひどく不十分です。子どもたちに安全で幸福な子ども時代を提供するために、より多くのことをしなければなりません。そしてそれは今です。」

日本の子どもの幸福度の結果 <総合順位:20位>

分野	順位	指標
精神的幸福度 37位	32位 ↓	生活満足度が高い15歳の割合
	12位 ↑	15～19歳の自殺率
身体的健康 1位	9位 ↑	5～14歳の死亡率
	41位 ↓	5～19歳の過体重/肥満の割合
スキル 27位	5位 ↑	数学・読解力で基礎的習熟度に達している15歳の割合
	39位 ↓	社会的スキルを身につけている15歳の割合

レポートカード16では、よい子ども時代を3つの側面から考え、それぞれ2つずつの指標で分析しています。日本は総合順位で20位でした。しかし分野ごとの内訳をみると、両極端な結果が混在する「パラドックス」ともいえる結果です。身体的健康は1位でありながら、精神的幸福度は37位という最下位に近い結果となりました。また、スキルは27位でしたが、その内訳をみると、2つの指標の順位は両極端です。



学力の指標である、数学・読解力で基礎的習熟度に達している子どもの割合では、日本はトップ5に入ります。一方で、社会的スキルをみると、ここにも両極端な傾向を示す日本のパラドックスが見てとれます。「すぐに友達ができる」と答えた子どもの割合は、日本はチリに次いで2番目に低く、30%以上の子どもが、そうは思っていないという結果だったのです。

尾木直樹氏(教育評論家・法政大学名誉教授)コメントより

日本の子どもの状況で注目すべきは教育政策上の問題が非常に大きく、子どもの自己肯定感がガタガタになっていて幸福感が育たなかったりするのは必然。また、いじめ問題は深刻で大人も歪めてしまっていて、最優先課題として向き合う必要がある。コロナ下だからこそ子どもの参加する権利があらゆる場面で重要です。子どもも学校も多様であるべきです。あらゆる面で子どもの参加が実現すれば、自ずと幸福度は上がっていくと思います。



詳しくはこちら

*本報告書は経済協力開発機構(OECD)または欧州連合(EU)に加盟する国々(41か国)を対象としています。指標によってデータのある国の数が異なり、総合順位表には、一定数のデータがある国のみが含まれています。

